

# 至学館大学

一般入試（前期） 2日目

英語 出題意図

## 第1問

日本政府及び文科省は今でもデジタル化、DX など、教育現場で進めようとしている。確かに便利な点もあり活用すべき点はあるものの、北欧ではすでにデジタル化は時代遅れで、脱デジタル化の動きが出ている。日本語メディアでは流れてこない言説を、健康科学を学ぶ大学の視点から、それに関する語彙を中心に読み解けるかを問うた。

## 第2問

量子論は「相対性理論」と共に今の現代社会が一変する新しい技術を生み出した理論であり、これからの社会を生きていく若者にとって、現代社会に貢献した科学者の存在を知ることは大切である。そのような内容について書かれた長文を読み、その文章を理解するに必要な基本的な文法・語彙・論理の展開を読み解く力を問うた。

## 第3問

英文整序の形式により、高等学校までに学習した基本的な英文の構造や慣用表現と文法事項(不定詞、否定、前置詞句、仮定法、疑問表現など)を総合的に理解しているかを問う問題とした。

## 第4問

空所補充の形式により、CEFR-J A 2.2~B 1.2 程度の語法を含む文法事項(前置詞の用法、類似の意味をもつ動詞の用法、分詞構文)について理解しているかを問うた。